

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月18日

事業所名 ゆにば

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動スペース、学習室、多目的室が仕切りで区切られています。その他に事務スペースも含めて133平米の床面積を確保しています。	これまで通り対応していきます。
	2 職員の配置数は適切である	△		直接支援にあたる指導員は基準に加え、2名プラスして配置しています。	指導員からは人員が不足しているという意見もあり、室内環境を整えることで、段取りよく対応できるようにPDCAサイクルの流れで見直しを進めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	室内は怪我防止と防音のため床にクッション材を敷いています。そのため、室内での車いすの移動は困難です。事業所入口まではバリアフリー化されています。	ビル4階にあり、騒音対策として床をクッション材で敷き詰めています。車いす対応との両立が難しく、ご迷惑をおかけすることご了承ください。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	お子さまの受入れ開始前にスタッフの希望を聞き取るようにしています。	計画、実施はされていますが、それをチェックして改善するサイクルがとれていません。検討項目を記録する体制を整えていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者交流については茶話会を実施しました。	今後もアンケート結果による保護者の意向も踏まえて改善を進めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに過年度分も合わせて公開しています。	今後も会報に公開情報を記載するようにしていきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	実施しませんでした。	市役所からの自己評価表をもとに改善点の洗い出しをしています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修の実施により、対応方法、感染症、虐待防止等の研修を行っています。	これまで通り対応していきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時に保護者面談と聞き取り用紙を元にアセスメントして個別支援計画書を作成しています。	これまで通り対応していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	記録用紙にアセスメントのチェックリストを記載してみました。	活動記録にアセスメントツールを取り入れてみましたが、取組みが不十分なところがあります。実施方法も含めて検討していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		打ち合わせの時に集団活動の内容を相談しています。	細かい打ち合わせによる指導員の動きまで想定と活動プログラムの振り返りをするようにします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合わせた工作など実施しています。	準備に余裕ができ、会報にものせることができることから、前もって立案できるようにしていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子さまのご利用時間帯を考慮しながら、平日や長期休暇などサービス提供時間に合わせたスケジュールを組んでいます。	立案が直前にならないようできるだけ前もって準備が進むようにしていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		療育内容を増やした上で組合せを行っています。	これまで通り対応していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		自発管からお子さまの状況について報告があり、スタッフ間の情報共有を図っています。	これまで通り対応していきます。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	△		送迎との兼ね合いでスタッフが集まる時間を設定していません。記録用紙に書かれていることが多くあり、それを参考にしています。当日には対処できていませんが、翌日以降に対応できるようにしています。	その日によって早く対処してほしいことはLine等でスタッフ間の情報共有をより速やかにできるようにしていきます。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		子どもが帰った後で静かな環境で書けるように時間を設けています。	記録の方法については必要に応じて随時見直しを行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		気になるお子様は6か月にこだわらず、早めに見直しをしています。	これまで通り対応していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		自立支援や創作活動を組み合わせながら支援を行っています。	これまで通り対応していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		本人中心者会議に児童発達管理責任者が出席しています。	これまで通り対応していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者から連絡を受けることでその都度対応しています。	これまで通り対応していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在のところ、該当者はいません。	医療的行為ができる専門スタッフが在籍していないため、該当するお子さまについては、対応可能な放課後等デイサービスを紹介することとします。また、強いアレルギーを示す利用者もあり、今後「エピペン」使用の研修を実施します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	△		積極的にならないと情報が集まりませんが、保護者によっては情報提供して頂いたり、支援会議を通じて情報提供して頂いたことがあります。	機会をみながら、状況共有できるよう努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		高校卒業を迎えたお子さまについては、書面にて当事業所の支援内容等をお伝えさせて頂きました。	情報が伝わるよう、事業所での様子について書面で用意するよう心がけていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		新型コロナウイルスの影響を受け、外部研修を受けていません。	状況を勘案しながら判断していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園に出かけることで近隣の子ども達と一緒にすることがあります。	今後も継続していきたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	参加していません。	参加できる機会が持てるよう検討を進めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者と日々の利用状況を説明する中で、子どもの状況について情報共有を進めています。	これまで通り対応していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	特別な機会を設けていませんが、保護者支援が必要と思われる方にはお話を聞かせて頂き、お子さまへの対応の仕方を助言しています。	これまで通り対応していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学时に施設概要や支援方法、利用者負担は契約時に説明しています。	これまで通り対応していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの求めに応じて助言しています。	これまで通り対応していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		茶話会を開催しました。	保護者が集まる機会が今後もできるように、茶話会等の開催を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者が気にしていることを苦情となる前に対処するように心がけています。	苦情に至る案件はありませんでしたが、今後も利用者、お子さまの想いを大事にしながら対応していくよう心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報を通じて、事業所の活動を発信しています。	これまで通り対応していきます。

非常時等の対応	35	個人情報に十分注意している	○		支援活動以外に個人情報を用いないよう注意しています。	個人情報の管理をより徹底するように業務方法の見直しを進めています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お迎え時等に、保護者へ気になることがないか伺うなど話をしやすい環境づくりに努めています。	これまで通り対応していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実施していません。	新型コロナ感染予防の観点から、関係者以外の方の事業所への立ち入りを控えています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルの策定をしており職員には周知しています。	会報等を通じて、情報発信に努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震の避難訓練を実施しました。	年2回の訓練をしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年2回虐待防止・身体拘束についての研修をしました。	今後も継続して研修を実施します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束を必要とする子どもはおらず、行動を拘束しないよう研修を実施しています。	必要に応じて適宜対応していきます。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの聞き取りで食物アレルギーの情報を収集しています。キッチンに指導員が確認できるリストを掲示し、口に入れることがないよう配慮しています。	食物アレルギーに対応して、購入するおやつについて複数人で確認する体制を整えています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例はスタッフ間で共有しています。	これまで通り対応していきます。	